



2020年12月

第306号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命
 副会長 山本 英次
 書記 長谷川あや子
 会計 小口 多津子
 直前会長 並木 信一
 担当主事 中里 敦
 ブリテン 山本 英次・茂木 稔
 大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」
 アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」
 スローガン:「奮い立たせよう」
 東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」
 副題:「助け合い、分かち合い」
 あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」
 クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

12月例会プログラム (クリスマス例会)

(担当: B班 : 花輪、久保田、並木真、福田、望月)

日時: 12月12日(土) 17:00~20:00

会場: 八王子大学セミナーハウス

会費: メン: 2,000円 メネット・ゲスト: 3,000円

第一部クリスマス例会

<17:00~18:00 交友館セミナー室B>

司会: 並木 真

奏楽: 永町匡世さん

開会点鐘

会長 花輪宗命

前奏

讃美歌 298番(1番のみ)

一同

聖書

並木 真(司会者)

奨励

並木信一

祈祷

並木信一

讃美歌 II編 167番(1・3番のみ) 一同

後奏・黙祷

東京YMCA報告

担当主事・中里 敦

連絡事項

会長 花輪宗命

閉会点鐘

会長 花輪宗命

第二部 懇親の夕べ

<18:00~19:40 本館多目的ホール(旧食堂)>

司会 久保田 貞視

演奏 永町 匡世さん

開会挨拶

会長 花輪 宗命

ゲスト紹介

会長 花輪 宗命

会食(お弁当)

♪ピアノ演奏 永町 匡世さん

ハッピーバースデー

スマイル(多摩いのちの電話のために)

閉会

記念撮影

先月の例会ポイント(11月)

| | | | |
|---------|------|-----------|---------|
| 在籍 | 13名 | 切手(国内・海外) | 1000g |
| メン | 13名 | 累計 | 1607g |
| メイキャップ | 0名 | 現金 | 0円 |
| 出席率 | 100% | 累計 | 0円 |
| メネット | 2名 | スマイル | 10,150円 |
| Zoom参加者 | | 累計 | 86,773円 |
| ビジター | 1名 | オークション | 0円 |
| ひつじぐも | 2名 | 累計 | 0円 |

今月の聖句(2020年12月)

彼らが王の言葉を聞いてでかけると、東方で見た星が先だつて進み、ついに幼子がいる場所の上で止まった。博士たちはその星を見て喜びに溢れた。家に入ってみると、幼子が母マリヤと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を持ち、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈りものとして献げた。

(新約聖書・マタイによる福音書2:9~11)

巻頭言

2020年度のクリスマス例会

実行委員長 久保田貞視

昨年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスが2月から我が国に持ち込まれ、感染拡大、4月・5月は非常事態宣言で不要不急の外出制限、市の関係の会場はすべて閉館で利用できず、7月より限定的に解禁となりましたがワイズの行事は3密とマスク着用には留意しながら続けています。しかし、11月になって感染者は急拡大、予断を許さぬ状況となっています。

当クラブ設立以来毎年継続している大学セミナーハウスでのクリスマス祝会を今年はどうしようかと思案しましたが、12月12日(土)に懇親会の席は3人一組のテーブルとし、食事を弁当にして飲み物も限定的にし、食事の間は出来るだけ静かにし、談話はマスク着用とする。その後、永町さんのピアノ演奏を楽しむ会とすることで開催することにしました。今回は、八王子にお住いの東京多摩みなみクラブの3組のメンバーもご出席してください。静かな意義のあるクリスマス祝会として、コロナ禍に十分注意して優雅なピアノの夕べとしたいと思います。

なぜこの形？ 大学セミナーハウス (八王子市)

小口多津子

「上下を逆さにしたピラミッドが、丘の上の地面に突き刺さる、なぜこの形？」

「どうやって立っているのか？」

という見出しで、10月20日付の朝日新聞夕刊に載った大学セミナーハウス本館の紹介記事に目が留まりました。八王子クラブの毎年のクリスマス例会会場です。私達の利用は、1996年12月のクリスマス例会から続いています(クラブチャーター1994年)。

今年でもう24年間も使わせて頂いています。いつも冬の夕闇の頃に見ていて、あまり昼間の全貌を見ることはなかったのですが、とにかく奇抜な建物です。

この記事によると、完成は1965年。経緯は東京女子大事務総長だった、故飯田宗一郎氏が当時の大学の大規模化に憂慮して自然の中に教師と学生の交流の場を願って建てたとのことでした。そしてこの奇抜な建築のデザインは、ル・コルビュジェの弟子だった故吉阪隆正氏(御茶ノ水のアテネ・フランセなどを設計)の設計で、「大地

に楔(くさび)を打ち込む」をシンボルにしたとのこと。斜めの壁面どうしが引っ張り合って、屋根や床が緩やかな曲面になるシェル構造」「自然と人の共存を考える課題を残した吉阪は、建築家であり教育者でした」(談・建築家・斎藤裕子)。この建物に込めた思いが伝わります。

私達が例会懇親会で歌ったり、演奏を聴いたりしている、4階の200人が入れる広さの食堂ホールは、驚くことに柱も梁(はり)も全くないホールになっています。

この場所で24年間、私達の人生の中での交流のひとつのときが生まれていました。

また、毎年この場で中央大学学Yひつじぐもの新旧委員長の交代も発表されていました。卒業された方々は今、どんな人生を歩いていることでしょうか。メンバーのうち去っていかれた方、亡くなられた方、また大勢のビジターの方々、本当にここでの沢山の出会いに感無量です。

(写真は新聞記事より)



高尾わくわくヴィレッジ寄稿スナップ



西東京センター便り

CA 西東京 センター長 中里 敦

今年のアドベントは11月29日でした。街はイルミネーションできれいに彩られ、ショップもクリスマスグッズを目にするようになりました。歳を重ねる度に月日の経つ早さを感じます。街は冬の装いとなりましたが、ほんの少し前に秋を満喫することができました。11月15日の「第14回ペタペタの会」で訪れた国立昭和記念公園です。イチョウ、モミジが紅葉真っ盛りでその美しさには目も心も奪われました。日頃の通勤の道にも広葉樹がありぼんやりと秋を感じていますが、この日は四季の素晴らしさ、紅葉の美しさといったまさに秋を体で感じました。ペタペタの会は、西東京センターのサポートチームのメンバーが企画から当日の運営まで担っていただいています。八王子ワイズからも小口さん、長谷川さん、久保田さんがサポートメンバーとして西東京を支えてくださっています。今回は、東京多摩みなみクラブの田中さんが何度も下見をしながら企画をしてくださり、当日もただ歩くのではなく、午前中は公園内で見れる木や鳥の名前、公園の年間来園者数は？などクイズが用意してあったり、所々で説明があったりと、参加者16名が関心を持って楽しく歩くことができました。当日は初めて参加された方も2名いましたが、クイズと一緒に考えるなど、コミュニケーションのきっかけともなりました。そのうちの1人は、その後YMCA会員にもなっていただき、ペタペタの会の目的も果たすことができました。今回は14,000歩以上も歩く1日でしたが、ペタペタとのんびり会話を楽しみながら心身ともにリフレッシュできる会となりました。そして改めてサポートチームのありがたさも感じる日となりました。

寒さ厳しくなりましたが、よきクリスマスと新年をお迎えください。

クリスマス会：12月6日・13日・20日（日）各13時頃～3回にわたりYoutubeで動画を配信いたします。詳しくはHPの西東京センター新着情報をご覧ください。

高尾わくわくヴィレッジ

高尾わくわくヴィレッジ 館長 菅野牧夫

高尾の森の秋も深まってまいりました。周りの山は色づき、落ち葉が駐車場にたくさん積もっています。子どもの頃に落ち葉を集めて焼き芋をしたことを思い出します。この枯葉を集めて焼き芋したらおいしだろうな～！いつかわくわくで勝手にやっちゃおうなんて考えています。

わくわくヴィレッジにはお客様に自然を感じてもらおうとビオトープが作られています。しかしここ何年か手入れをしていなかったためススキやヨシ、ガマなどががっつりと根を下ろし、ヘドロがたまって水の流れが無くなり、昆虫や水棲動物がすみにくい環境となってしまいました。高尾の森自然学校のスタッフのお知恵やお力を借りて池の環境改善に乗り出しました。

高尾の森自然学校の方のお話ですと秋は水棲動物にとってダメージが少ないということで、11月の初旬に池のかわりぼりを行いました。2日間で合計12名がヨシやガマの根っこを格闘しました。池の水を抜くと細々ながら、モツゴやカワムツ？エビ、ヤゴ、カワニナなどが生息していました。これらの生き物をできる範囲で隔離して、大イベントである水生植物の除去と長年の間にたまってしまったヘドロの除去をしていきます。スコップで池の底を掘りながら、のこぎり鎌で根っこを切り刻み引き抜いていく作業の繰り返しです。そのあとはヘドロの掻き出し作業です。2日間で軽トラック1台分ぐらいの根っことヘドロを除去しました。私も作業に1日参加しましたが、次の日は腕、腰、腿が筋肉痛で疲労困憊でした。

来年の春に水辺の生き物が生き生きと動き回っていることを夢見ています。高尾の里山風景の再現を目指して、環境改善は始まったばかりです。

今月の聖句によせて (2020年12月)

クリスマスといえば、分かちがたく関わってくるのがプレゼントの習慣。この習慣は古くローマ時代からあり、常緑樹の小枝を森からとってきて幸運のしるしとして贈ったのがはじまり、といわれています。この贈りものも徐々に豪華になり、家庭経済を圧迫するほどになっていき、一時期、キリスト教では贈り物を異教徒的なものとして排除しようとしたことがあったようです。しかし、その魅力のほうが勝り、なくなることなく、今日にいたっています。子どもたちにとって、サンタ・クロースが運んでくるクリスマス・プレゼントほど、大人になってもななく心に残り、子ども達に夢を与えるものはないでしょう。

貧しかった私の子ども時代にも、今でもこれまでの人生最高、と思うクリスマス・プレゼントにまつわる思い出のシーンがあります。家族みんなが一部屋で川の字になって寝ていましたが、朝、枕元をみると箱に入って銀色に輝くハーモニカがおいでがありました。カードに「クリスマスおめでとう」。小学5年生のクリスマスのことでした。子どもながらに、衣食住の必要を満たすことに思いをいたす日々にあつてのことでした。

一時期、排除されかけたクリスマスの贈り物を正当化し、意義を与えたのが、マタイによる福音書2章の東方の博士たちの贈り物の物語と、サンタ・クロースの名前で親しまれる聖ニコラウスの伝説、などといわれています。

コロナ・ウイルスの感染拡大に苦しむ中で迎える今年のクリスマス。YMCAメンバーの今月の目標、「困っている人のためになにかしように」、に内実を与えたいものです。

並木 信一

今月の例会報告 11月度

<報告>

2020年11月第一例会

日時:2020年11月14日(土)18:00~20:00

会場:北野事務所大会議室(担当A班)

出席:大久保・菅野・久保田・小口・中里・並木信一・並木真・

長谷川・花輪・福田・茂木・望月・山本

メネット:久保田・並木

ゲスト:郷 進太郎さん 以上16名

Zoom 参加:太田勝人(町田スマイリング)

川村拓・渡辺伊純(中大ひつじぐも)

※ 2回目のハイブリッド例会

卓話:「球磨村災害支援報告」郷 進太郎さん

西東京コミュニティセンター スタッフ

東京YMCA 報告

・冬のプログラム再開

(スキーキャンプ・ネイチャープログラム)

・チャリティランナー参加者1213名

総歩数—89739464歩(地球1,5週分)

・ポジティブネット募金は続行

2020年11月第二例会

日時:2020年11月28日(土)18:00~19:15

会場:北野事務所小会議室①(担当A班)

出席:小口・長谷川・久保田・花輪・並木信一・並木真・福田・茂

木(8名)

・クリスマス例会:12月12日(土)17:00~

受付16:45~交友館セミナー室B

参加予定:メン・メネット15名 ゲスト6名

今年はキャンドルサービスは行わない。

マスク着用・検温をして参加

・西東京センターファミリークリスマス

12月6日、13日、20日 13:00~動画配信

<https://bit.ly/2KSY2Th>

・2021年1月第一例会:1月23日(土)

北野事務所大会議室(担当C班)

・1月第二例会については未定

・2月第一例会:2月27日(土)(担当A班)

中大ひつじぐも便り

ひつじぐも ワイズ係 渡辺伊純

今年もあと僅かということで今年のひつじぐもの活動を振り返りたいと思います。新型コロナウイルスの影響により、今年の2月から対面での活動が大学側から禁止されました。

4月には例年のような対面での新歓活動は行えず、今年にはツイッターやInstagramなどのSNSを活用し、活動の紹介を行いました。例年と比べ、数は少ないですが現時点で1年生は7名加盟してくれました。新歓期以降は、月に1度定例会をオンラインで行い今後の活動について話し合いました。今まで行ってきた活動が急にできなくなり、今後の活動はどうなってしまうのだろうかという不安もありましたが、部員同士が意見を出し合う中で、オンライン勉強会という活動が出てきました。勉強会では、部員それぞれが興味を持ったボランティア活動の問題や、環境問題などをテーマに発表を行った後、ディスカッションを行いました。勉強会で部員それぞれが身に着けた問題意識は、今後のボランティア活動の発展に大いに繋がると思います。また、

私と委員長は10月からはワイズメンズクラブの例会にZOOMで参加させていただいています。オンライン上で素晴らしい卓話を聞くことができる機会をつくってくださいました、ワイズメンズクラブの方々には誠に感謝しております。

このように、今年度の活動はほぼオンラインでの活動となりました。コロナ禍でも活動を止めることなく、部員と勉強会、交流会を行えたのはひつじぐものチームワークの良さだと思います。

年末ご多忙のおりではございますが、皆さまご自愛くださいますようお願い申し上げます。

12月の誕生日
該当者なし

2011年1月例会卓話者の紹介

特定非営利活動法人 フードバンク八王子 えがお 理事長:佐野英司 氏

フードバンク八王子えがおは、「食で支えよう ひと 地域 未来」をモットーに、食のセーフティネット